

赤色旗 1 回目のゲーム再開方法の変更について（2023 年 4 月施行の基準規則より抜粋）

2023/3/17

マンツーマン推進プロジェクト

2022 年 11 月 16 日 JBA 理事会承認

2023 年 3 月 17 日修正

<経緯>

- ・ 2022 年 11 月現在、赤色旗 1 回目のゲーム再開方法は以下の通りマンツーマン基準規則第 10 条に記載されている。

10-2 1 回目の警告の場合の処置

10-2-1 違反内容の説明後、クルーチーフは当該チームのコーチに 1 回目の警告であることを明確に伝える。この間、アンパイアはコート内のプレーヤーを把握し、すぐにゲームが再開できるようにその場に待機させる。

10-2-2 当該チームのコーチは、プレーヤーに説明が必要な場合、スコアラズテーブルの前に 5 人のプレーヤーを集め、簡潔に説明することができる。

10-2-3 処置の後、ゲームクロックが止まったときの状態から、速やかにゲームを再開させる。

10-2-4 ゲームクロックがフリースローを伴うファウルで止まった場合、当該ファウルの罰則のフリースローを行った後、ゲームクロックが止まったときの状態から、速やかにゲームを再開する。

以上の通りであり、イリーガルなディフェンスをしたと判定されたチームのボールポジションでゲームが再開されることになっているため、不公平感が強い。

<変更>

- ・ 赤色旗 1 回目のゲーム再開方法を「イリーガルなディフェンスをされた、元のオフェンス側のスローインで再開」とする。
- ・ 変更後の基準規則は別添の通りとする。

<変更理由>

- ・ ディフェンスのやり得を防ぐために、ボールポジションを元のオフェンスチームに与える。

<変更後の基準規則(2023 版に記載)>

第 9 条 マンツーマンペナルティの罰則

9-1 罰則

9-1-1 相手チームに 1 本のフリースローが与えられた後、相手チームのフロントコートのスローインライン(U12 ではスコアラズテーブルの反対側のセンターラインの延長線上)からのスローインでゲームを再開する。

9-1-2 コーチに 2 回(U12 では 3 回)のマンツーマンペナルティが記録された場合、当該コ

一チは失格退場となる。

- 9-1-3 1 回目の赤色旗は警告でありマンツーマンペナルティは記録されないが、罰則として相手チームにボール保持が与えられる。ボールの保持が変わらなかった場合（アウトオブバウンズ、ディフェンス側のファウル、ディフェンス側のキックボール）は事象の起こった近い位置からのスローインとし、それ以外は相手チームのフロントコートのスローインライン（U12 ではスコアラーズテーブルの反対側のセンターラインの延長線上）からのスローインでゲームを再開する。
- 9-1-4 ただし、アンスポーツマンライクファウル・ディスクォリファイファウルなど、フリースローの後にディフェンス側のボール保持から再開するケースはファウルの処置を優先する。
- 11-2 1 回目の警告の場合の処置
- 11-2-1 違反内容の説明後、クルーチーフは当該チームのコーチに 1 回目の警告であることを明確に伝える。この間、アンパイアはコート内のプレーヤーを把握し、すぐにゲームが再開できるようにその場に待機させる。
- 11-2-2 当該チームのコーチは、プレーヤーに説明が必要な場合、スコアラーズテーブルの前に 5 人のプレーヤーを集め、簡潔に説明することができる。
- 11-2-3 処置の後、ボールの保持が変わらなかった場合（アウトオブバウンズ、ディフェンス側のファウル、ディフェンス側のキックボール）は事象の起こった近い位置からのスローインとし、それ以外は相手チームのフロントコートのスローインライン（U12 ではスコアラーズテーブルの反対側のセンターラインの延長線上）からのスローインでゲームを再開する。
- 11-2-4 ゲームクロックがフリースローを伴うファウルで止まった場合、当該ファウルの罰則のフリースローを行った後、相手チームのフロントコートのスローインライン（U12 ではスコアラーズテーブルの反対側のセンターラインの延長線上）からのスローインにより、速やかにゲームを再開させる。
- 11-2-5 ただし、アンスポーツマンライクファウル・ディスクォリファイファウルなど、フリースローの後にディフェンス側のボール保持から再開するケースはファウルの処置を優先する。
- 16-1-4 ショットクロックは、1 回目の警告の場合、ボールの保持が変わらずアウトオブバウンズでゲームが止まった場合は、警告の後、U12U15 とともにショットクロックは継続とする。ボールの保持が変わらずそれ以外の場合（ディフェンスファウル、ディフェンス側のキックボール）は、U15 ではショットクロックが 15 秒以上残っている場合は 24 秒へリセット、14 秒以下の場合は 14 秒へリセットする。U12 では 24 秒へリセットする。これ以外の場合は U15 では 14 秒、U12 では 24 秒にリセットする。

赤色旗 1 回目の再開方法 (2023 年 3 月 17 日修正版)

	状況	再開方法	再開時の24秒計 (U15)		再開時の24秒計 (U12)	
			残り15秒以上	残り14秒以下	残り15秒以上	残り14秒以下
ボールのコントロールが変わらない	アウトオブバウンズ	Aチームのスローイン U15/U12共通；事象の起こった近い位置からのスローイン	継続		継続	
	Bチームのファウル		24秒	14秒	24秒	
	Bチームのキックボール					
ボールのコントロールが変わる	Bチームのスティール(ケース1,3)	Aチームのスローイン  U15：相手チームのフロントコートのスローインラインからのスローイン  U12：スコアラーステーブルの反対側のセンターラインの延長線上からのスローイン	14秒		24秒	
	Bチームのディフェンスリバウンド(ケース1)					
	Aチームが得点した場合(ケース5)					
	Aチームのバイオレーション					
その他	Aチームのファウル(ケース3,6)	Bチームのフリースロー (リバウンダーなし) の後、Aチームのスローイン	14秒		24秒	
	ジャンプボールシチュエーション(ケース4) *1					
	Bチームのショット動作中へのファウル(ケース2)					
	Aチームのショット〜リバウンド時Aチームのファウル (チームAのファウル5回目以上の場合)					
その他	アンスポーツマンライクファウル (UF) ディスクォリファイファウル (DQ)	DQ/UFのファウルの処置を優先し、ルールに沿ったスローインで再開 *2	14秒		24秒	
	オフェンス側：Aチーム ディフェンス側：Bチーム とする *1：ジャンプボールシチュエーションを無効とし、アローが示すスローインの権利を行使せずにスティールと同様に処理する。理由として、ジャンプボールシチュエーションになったのはイリーガルなディフェンスが引き起こしたと考えられるため。	*2：マンツーマンペナルティの処置を行わないが、マンツーマンペナルティの警告を取り消すものではない。				

以上